

理事長にインタビュー

理事長

すずき たすく
鈴木 祐 先生

「私たちの治療によって患者様の苦痛や不便さを軽減できることが私たちの喜び。」

「医療法人慎誠会 大岸歯科クリニック」は、鈴木祐先生が2017年に先代院長より承継し、宮城県仙台市に移転開院された歯科クリニック。理事長の鈴木先生は、より最適な診断と治療を患者様に提供するため、常に最新の情報をアップデートされております。今回はそんな鈴木先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについて伺いました。

インプラントは 失われた歯の代わりとして 高い安定性が期待できる治療法

—— まずは初めの質問です。鈴木先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

条件が整えば、インプラントは失われた歯の代わりとして高い安定性が期待でき、残存している天然歯への負担を軽減できる治療法です。これにより、ご



自身の歯の寿命を延ばすことにも貢献する可能性があります。

また、インプラントの持つ強固な特性により、無歯顎のケースでも少ない本数で安定した噛み心地を実現し、充実した食生活を送る一助となることが期待されます。

—— インプラントはしっかり噛めるようになるということですね。それでは実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょう？

多くの患者様から喜びの声をいただいております。理由としては、違和感なく歯に近い感覚で噛める、食事が美味しい、見た目も綺麗なので人前で歯を見せて笑えるなど、生活に即した恩恵があるためです。症例にもよりますが、手術後痛みもほとんどなく、想像より怖い治療ではないんですよ。

—— メリットが多いインプラント治療ですが、中にはインプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？



当院では、低侵襲かつ短期間の治療を目指し、手術回数を減らす工夫やなるべく腫れない術式を学んで実践しています。精密な診査診断を徹底し、安全に配慮した治療計画を立案。

術後の不快感が少ない場合も多く、抜歯経験のある方からは『想像より楽だった』というご感想をいただくことがほとんどです。

患者様に寄り添った誠実な説明と治療が当院の強み

—— ところで鈴木先生は、常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

インプラントの最新情報を得るため、セミナーや学会へ積極的に参加し、情報収集に努めています。インプラントメーカーの協力も得ながら、科学的根拠に基づいた治療の実践を心掛けております。

また、所属学会を通じて専門知識を持つ先生方と意見交換を行い、私自身も研鑽を深めています。常に知識を更新し、患者様へ質の高い治療を提供できるよう努めております。

—— 日々の治療だけではなく、常に知識・技術向上にと研鑽されているんですね。それでは治療をされる上で、患者様とコミュニケーションをどのように取っていらっしゃいますか？

常に患者様の立場に立って考えることを意識してい

ます。患者様の背景や日常サイクルに合わせて、自分だったらどんな治療を求めるだろうか、という視点を持ってコミュニケーションをとるようにしています。

また、専門知識の中から様々なご提案をすることで、患者様の理解が深まるよう努めています。

—— それだけ寄り添っていただくと患者様も安心ですね。それでは鈴木先生、ずばり！クリニックの強みはどこでしょうか？

患者様に寄り添った誠実な説明と治療が当院の強みです。患者様ごとに口腔内の問題点を抽出し、再発リスクの軽減を考慮したオーダーメイドの治療プランを複数ご提示。治療方針を共に相談し決定します。

患者様それぞれの治療ゴールや時間・費用面も考慮し、担当医が責任を持って質の高い治療をご提供できるよう努めております。

—— ここまでお聞きして、治療に学会、研究会にとご多忙だと思えますが、休日はどのように過ごされていますか？

患者様の治療計画書の作成やインプラント手術のプランニングの合間に、趣味のアクアリウムのメンテナンスとペットとの安息の時間を過ごしています。

—— それでは最後の質問です。鈴木先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょうか？

一番は、私たちの治療によって患者様の苦痛や不便さを軽減できることです。『噛めるようになった』『綺麗になった』『痛みが和らいで楽になった』などの声を聞く時が何より嬉しいです。そのために歯科医師として医療に従事できているという根本的なことが喜びにつながります。また、学び続けていくことの大切さを実感しています。